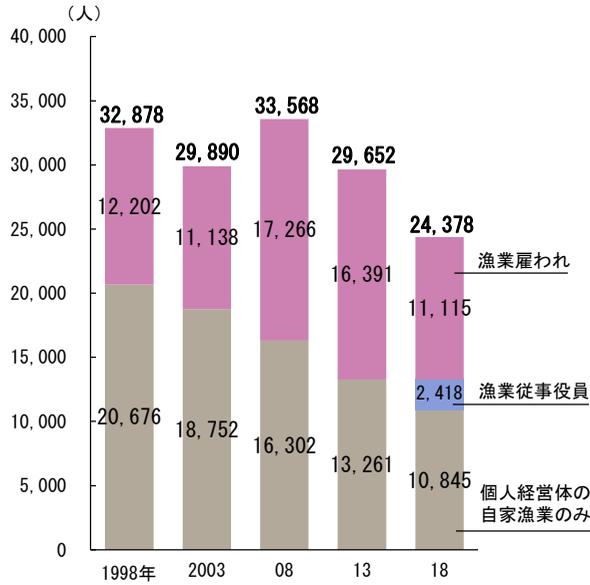


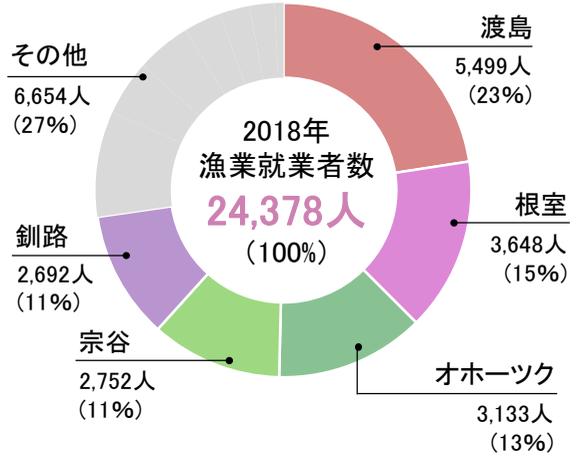
4 漁業就業者

● 漁業就業者数の推移(北海道)



2008年からの10年間で27%減少

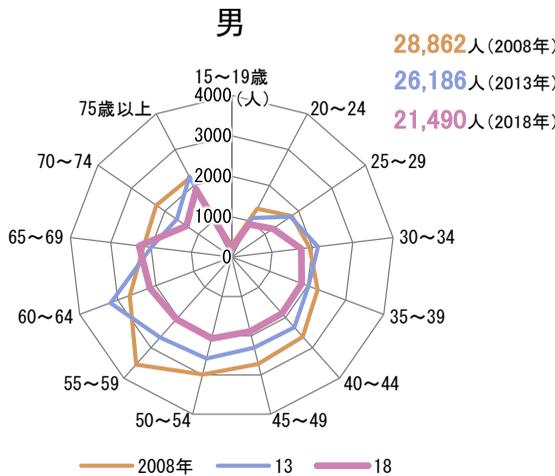
● 地域別漁業就業者数(北海道)



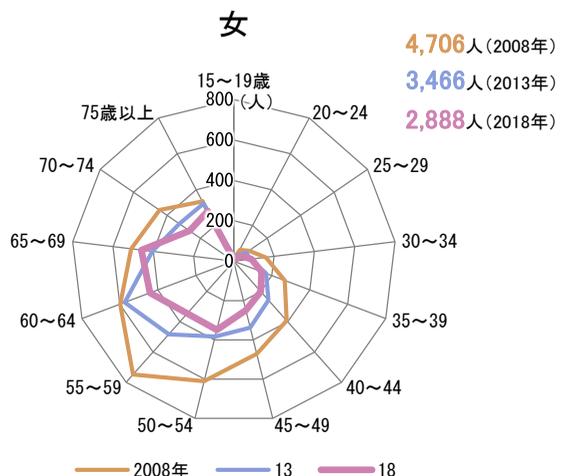
渡島地域が最も多い

- 注: 1 漁業就業者の「漁業雇われ」は、調査体系の見直しにより、その調査対象範囲が2003年以前の調査と2008年以降の調査に相違があることから、単純に比較はできない。
 2 「漁業雇われ」は、非沿海市町村(海面に沿わない市町村)に居住する漁業雇われ者についても、2008年調査から調査対象となっている。
 3 漁業従事役員は2018年から新たに調査項目となった。2013年以前は「漁業雇われ」に「漁業従事役員」を含んでいる。

● 男女別年齢階層別漁業就業者数の推移(北海道)

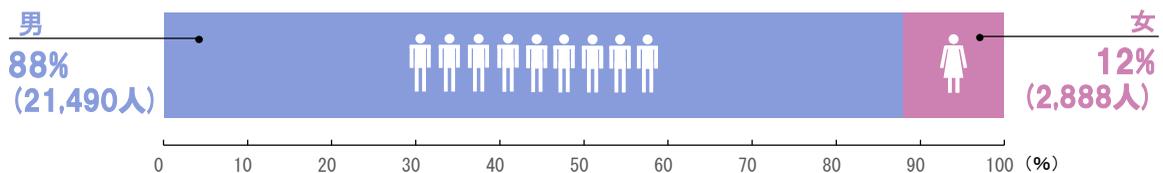


2018年の75歳以上は1,883人(9%)



2018年は60歳台が最も多い

漁業就業者数男女割合(2018年)

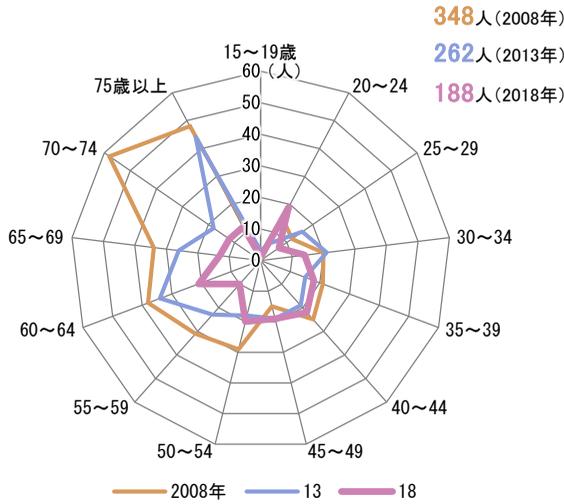


用語の解説

漁業就業者…満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に年間30日以上従事した者をいう。

● 年齢階層別漁業就業者数の推移(地域別)

石狩地域

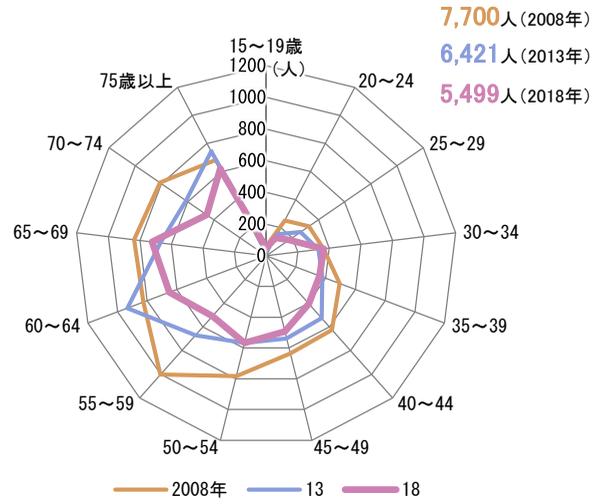


「40~44歳」の割合が高い

「40~44歳」の階層が最も多く、次いで「50~54歳」、「60~64歳」の階層が続いています。

また、他地域と比べて「20~24歳」の割合が高くなっています。

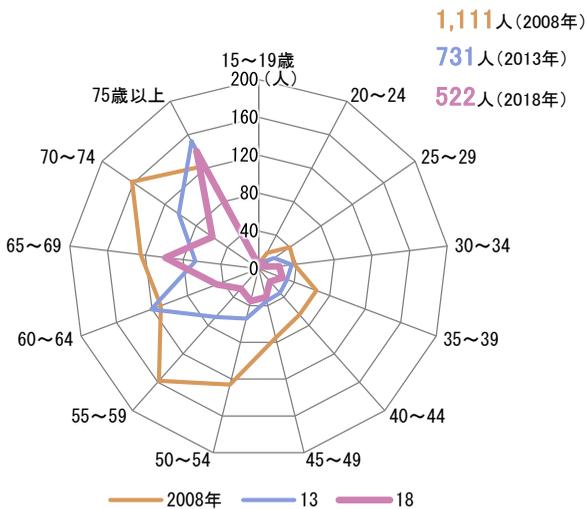
渡島地域



60歳以上の割合が45%を占める

「65~69歳」の階層が最も多く、60歳以上の就業者割合が高くなっています。

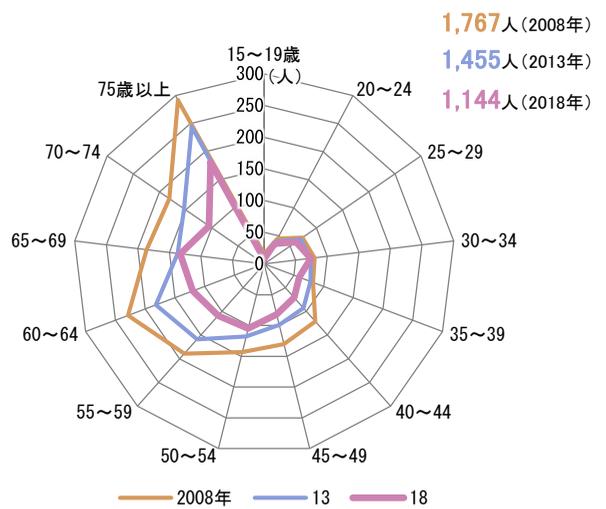
檜山地域



75歳以上の割合が道内で最も高い

「75歳以上」の割合が道内で最も高く、60歳以上の就業者割合も高くなっています。

後志地域

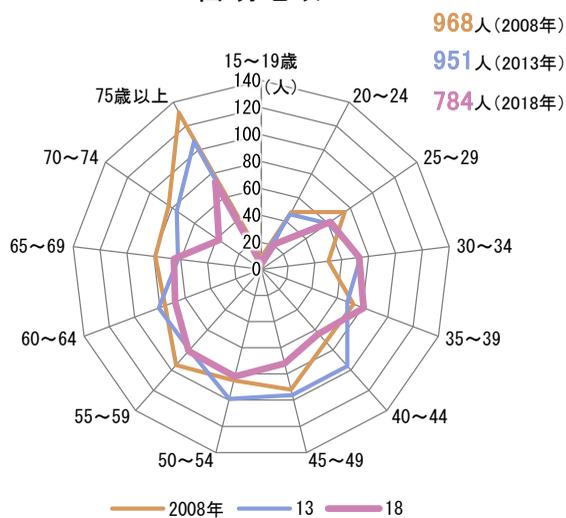


60歳代以上が中心

「75歳以上」の階層が最も多く、60歳以上の就業者割合が高くなっています。

● 年齢階層別漁業就業者数の推移(地域別)(続き)

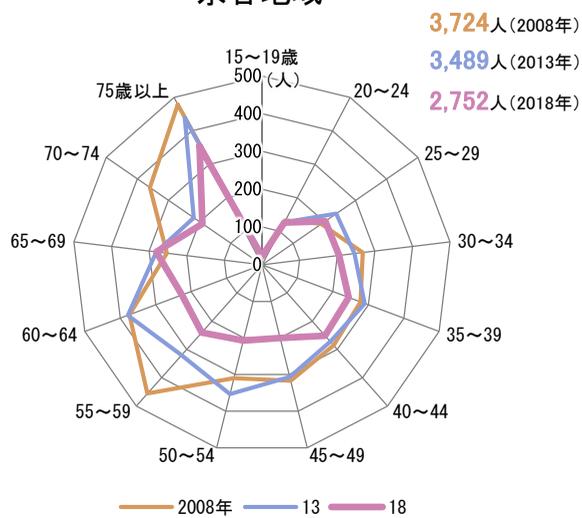
留萌地域



30歳台、50歳台が中心

「50~54歳」の階層が最も多く、次いで30歳台の就業者割合が高くなっています。

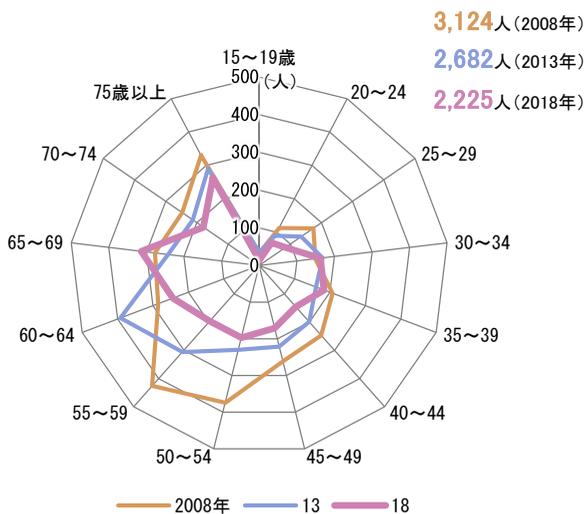
宗谷地域



75歳以上の割合が高い

「75歳以上」の階層が最も多く、次いで、「65~69歳」の階層が多くなっています。

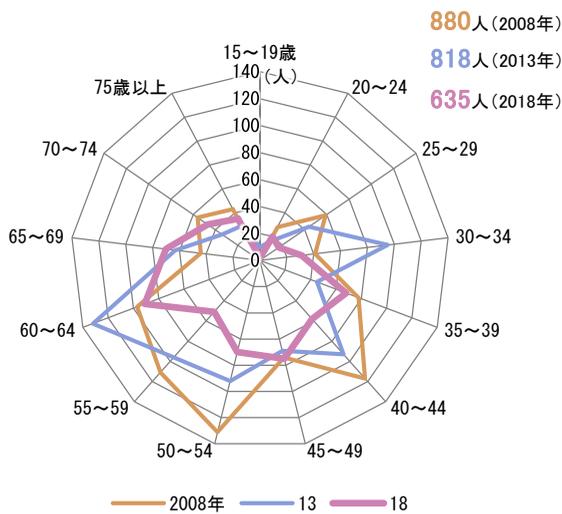
日高地域



50~60歳台が中心

「65~69歳」の階層が最も多く、50~60歳台の就業者割合が高くなっています。

十勝地域

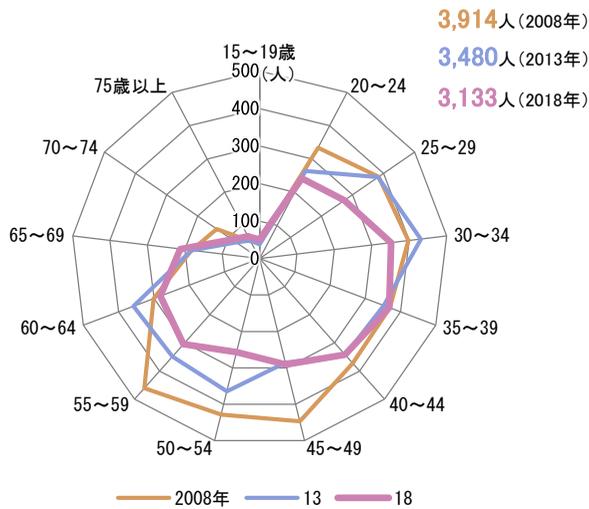


60歳台の割合が高い

「60~64歳」の階層が最も多く、60歳台の就業者割合が高くなっています。

● 年齢階層別漁業就業者数の推移(地域別)(続き)

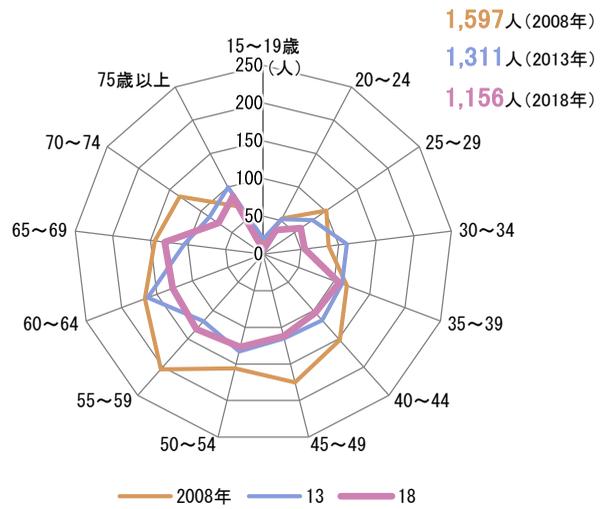
オホーツク地域



30歳台の割合が高い

「35~39歳」の階層が最も多く、他の地域に比べて20~30歳台の就業者割合が高くなっています。

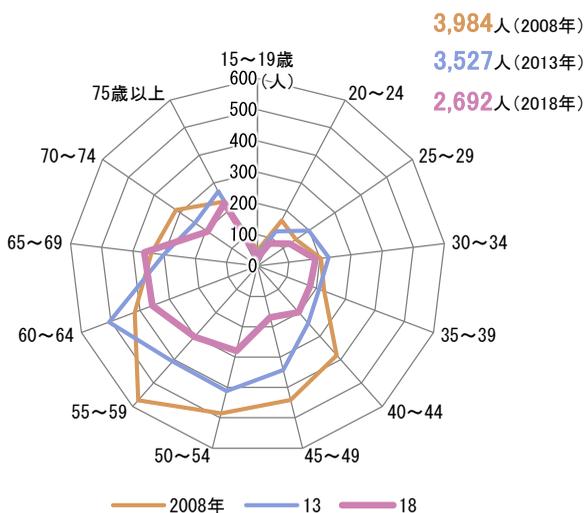
胆振地域



50~60歳台が中心

「55~59歳」の階層が最も多く、50~60歳台の就業者割合が高くなっています。

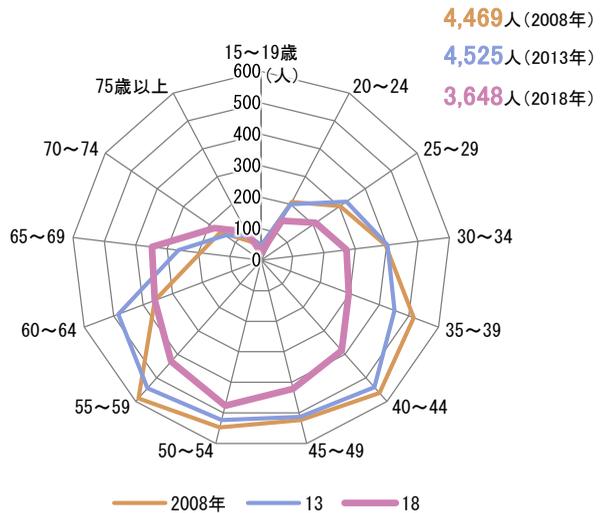
釧路地域



50~60歳台が中心

「65~69歳」の階層が最も多く、50~60歳台の就業者割合が高くなっています。

根室地域



40~60歳台が多い

「50~54歳」の階層が最も多く、他の地域に比べて40~60歳台の各階層とも就業者割合が高くなっています。